

するがわんぬまづ
新東名高速道路 駿河湾沼津スマートインターチェンジ
～開通 6 ヶ月の交通量及びストック効果^{※1}について～

【沼津市 建設部 道路建設課】

※1 ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に得られる効果

するがわんぬまづ
平成 29 年 3 月 18 日(土)に開通した新東名高速道路 駿河湾沼津スマートインターチェンジについて、開通後 6 ヶ月の交通量及びストック効果についてお知らせします。

<交通状況>

- 開通後 6 ヶ月間で平均約 1,500 台/日が利用
- 交通量は増加しており、直近 1 ヶ月間は平均約 1,800 台/日が利用

<ストック効果>

- アクセス向上による産業活動の支援
 - ・沼津市西部地域から東京方面(東名高速道路御殿場 JCT)までの所要時間が約 16 分短縮し、地元企業も時間短縮・利便性向上を実感
 - ・ビッグデータを活用し分析した結果、沼津市内 2 箇所^{※2}のスマート IC の開通により国道 1 号(東京方面)の朝ピーク時(7 時～9 時)において一部区間の走行速度が 9 km/h 改善

※2 沼津市内では、駿河湾沼津スマート IC の他に愛鷹スマート IC が平成 28 年 3 月に開通している。

- 復旧支援ルートが早期に確保可能
 - ・駿河湾沼津スマート IC とアクセス道路の整備により、ヘリポートの新設で防災機能の強化された駿河湾沼津 SA と市内防災拠点を結ぶ新たなネットワークを構築

お問い合わせ先	【沼津市スマートインターチェンジ地区協議会事務局】 担 当：沼津市建設部道路建設課道路企画係 電話番号：055-934-4776 FAX 番号：055-934-4782 電子メール：douro@city.numazu.lg.jp
---------	--

1. 駿河湾沼津スマートIC 6ヶ月の交通量について

参考資料1

◇ 駿河湾沼津スマートICの利用交通量

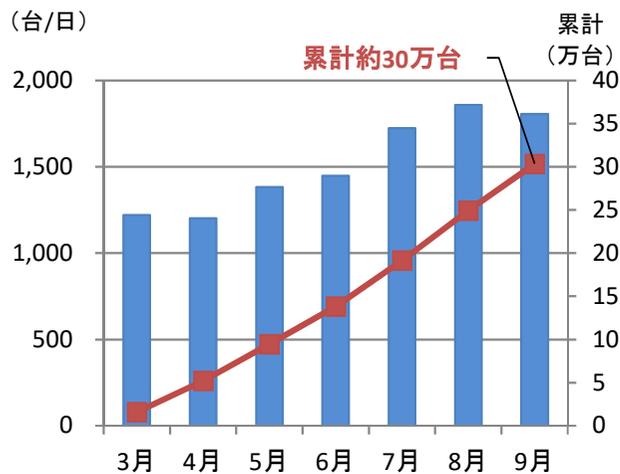
- 開通後6ヶ月間※1では、約1,500台/日 (計画交通量3,600台/日)
 - 直近1ヶ月間※2では約1,800台/日が利用
- ※1: 開通後6ヶ月 3/18~9/30
 ※2: 直近1ヶ月 9/1 ~9/30



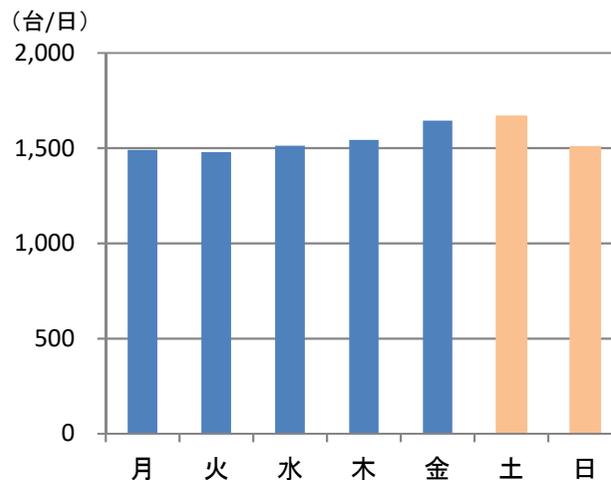
◇ 交通量について

- 開通から6ヶ月で累計約30万台の利用台数があり、月別でも交通量は堅調な伸び(表1)
- 曜日別交通量から、金曜、土曜の利用量が比較的多い(表2)
- 方向別では、東京方面との利用がやや多い(表3)

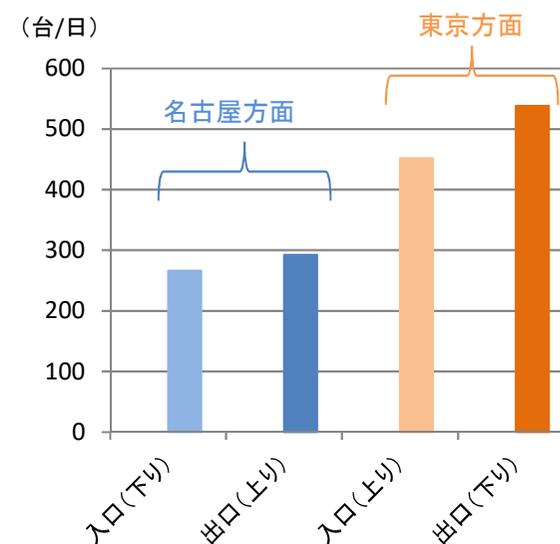
【表1 月別平均・累計利用台数】



【表2 曜日別】



【表3 方向別】



出典: 中日本高速道路株式会社東京支社データ

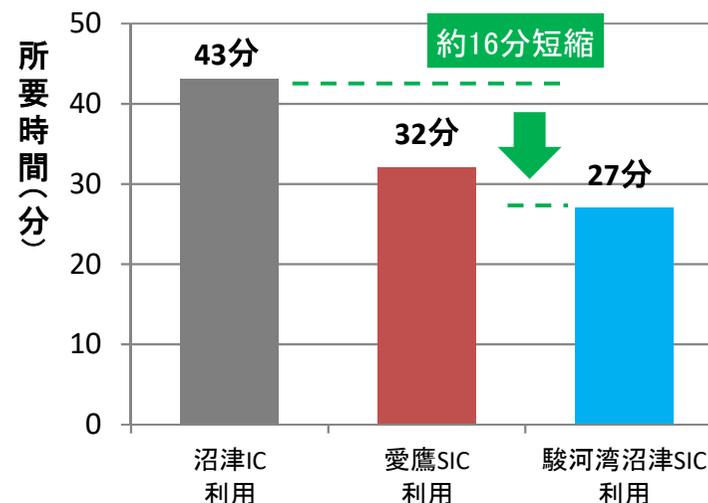
2.アクセス向上による産業活動の支援

参考資料2

- 原西部地区から御殿場JCTまでの所要時間が約**16分短縮**し、高速道路へのアクセス性向上に寄与
- 地元企業は開通後の**時間短縮・利便性向上**を実感し、**8割以上**の企業に良い影響を与える



原西部地区から御殿場JCTの所要時間



出典：沼津市調査(平成29年6月)
(平日の9時から16時に調査)

スマートIC開通による地元企業への影響



8割以上の企業にとって良い影響を与えています

※対象企業は
沼津市商工会、浮島工業団地など
駿河湾沼津スマートIC周辺の企業

出典：沼津市企業アンケート調査(平成29年7月)

【企業の声】沼津中央青果(株) (青果物卸売業)

全国の生産地から青果を入荷し、近隣スーパーなどへ出荷しています。
農産物を**安定して輸送**することができるようになりました。



【企業の声】(株)城南倉庫 (営業倉庫、一般区域貨物自動車営業)

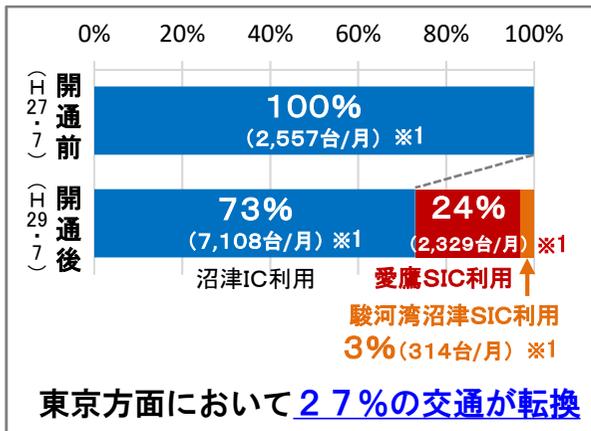
磐田市や東京方面にコピー機の部品、紙の輸送を行っています。
磐田市へは駿河湾沼津スマートICを、東京方面へは愛鷹スマートICを利用しています。開通前と比較して**15分程度時間短縮**ができ、輸送コストが抑えられます。



3. 駿河湾沼津スマートIC開通後の利用圏域・国道1号の変化

- 沼津市内2箇所のスマートIC開通により、東京方面における沼津IC利用圏域のうち、**国道1号の交通がスマートICに転換**
- 沼津ICを利用していた交通の約**27%**が2箇所のスマートICに**転換**、スマートICの利用台数が増加していることから、今後さらに**転換が進む**と考えられる。

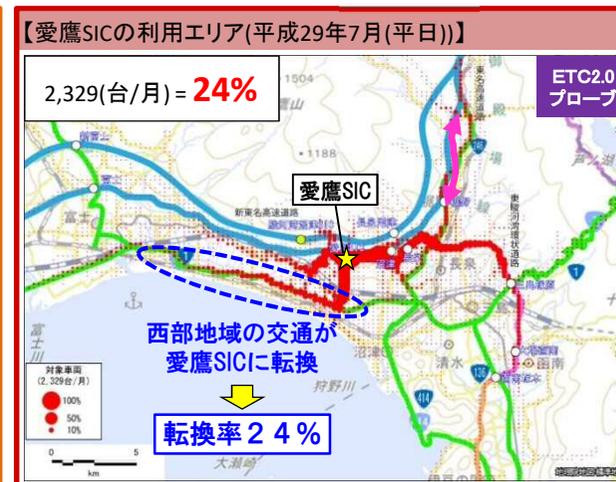
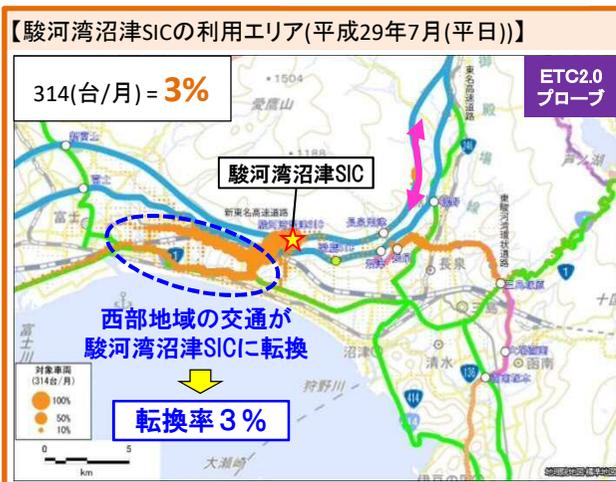
■ スマートIC開通前後の利用IC変化



※1. ETC2.0搭載車両台数から交通分担率を算出



【検証方法】
沼津市内2箇所のスマートIC開通前後 (H27⇔H29) における各ICの利用状況について、東京方面に行き来するETC2.0搭載車両の動きで分析。



※ETC2.0プローブ情報は全て平日のみで集計

資料提供:国土交通省(ETC2.0プローブ情報)

3. 駿河湾沼津スマートIC開通後の利用圏域・国道1号の変化

参考資料4

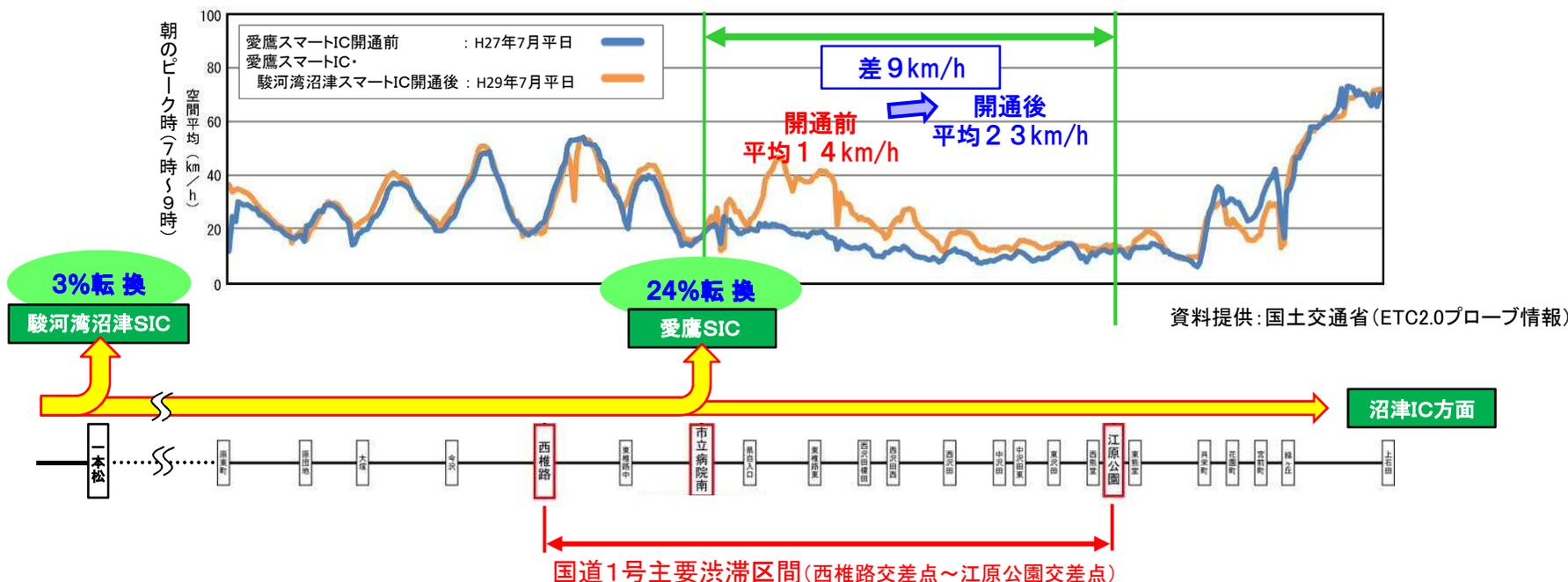
■沼津市内2箇所のスマートIC開通により、国道1号(主要渋滞区間(市立病院南交差点～江原公園交差点))の東京方面において、朝のピーク時(7時～9時)で一部区間の走行速度が9km/h改善

【検証結果】

○国道1号東京方面で、朝ピーク(7時～9時)の時間帯に着目し速度を分析

市立病院南交差点～江原公園交差点間における速度約9km/hの改善を確認

【沼津市内2箇所のスマートIC開通による空間平均速度の変化(国道1号:東京方面)】



○国道1号東京方面で、夕ピーク(17時～19時)の時間帯に着目し速度を分析

市立病院南交差点～江原公園交差点間において速度変化は確認できなかった

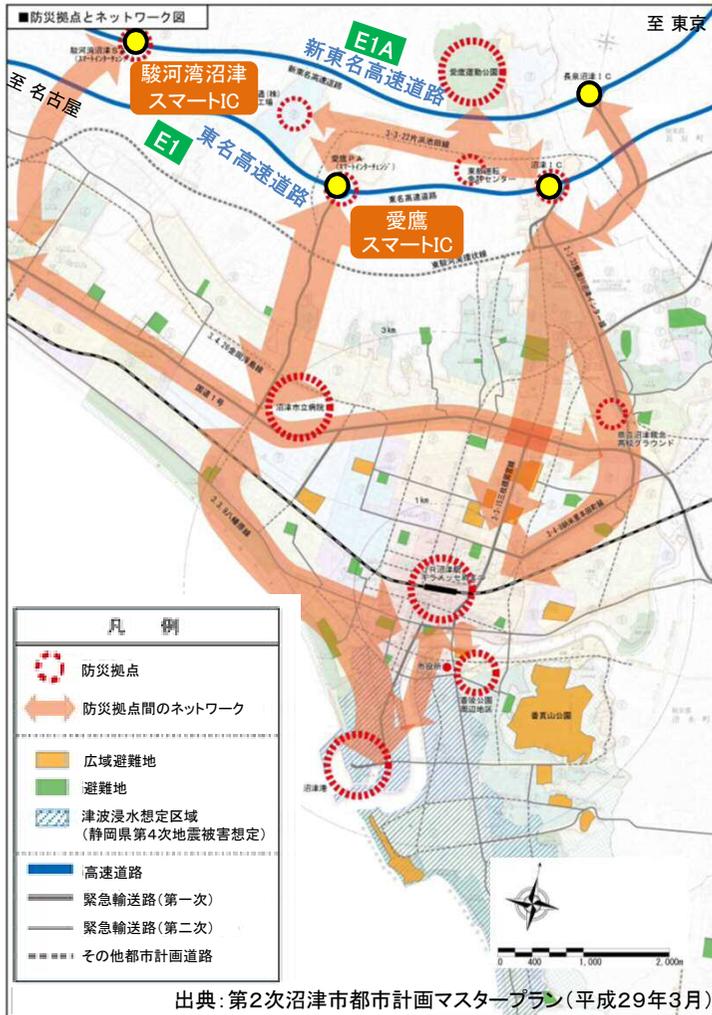
※原因として、2箇所のスマートICに交通が転換したことにより、走りやすくなった国道1号へ新たな交通が流れ込み、結果として交通量が増加したことにより速度改善に繋がらなかったと考えられる。

4. 復旧支援ルートの早期確保

- 駿河湾沼津SAでは、ヘリポート造成など防災機能が強化され、陸路と空路での復旧支援ルートの早期確保が期待される
- 駿河湾沼津スマートICとアクセス道路の整備により、防災拠点間の新たなネットワークを構築

駿河湾沼津SAは、広域的な被害が想定される南海トラフ巨大地震に対応するための防災拠点として位置付けられている

【防災拠点間のネットワーク図】



ヘリポート造成工事

駿河湾沼津SAの上下線にヘリポートを造成



アクセス道路の整備

スマートICと沼津市街を結ぶ大型車両でも交差通行が可能な道路を整備



サービスエリアやパーキングエリアは災害時の輸送基地としての役割

被災時に強い味方 ヘリポートや自家発電 新東名 県内にくまなく防災設備

ふじのくに Front of disaster prevention 防災最前線

出典：総合情報誌「ふじのくに」第9号（静岡県）（防災最前線 新東名の防災対策）



駿河湾沼津SAヘリポートでの離着陸訓練の様子(H25.2.5)